

科目ナンバー	C7202	要件	保育必修	授業形態	演習	対象学生	I AB II CD 科目等履修生
授業科目	子どもの保健Ⅱ						
実施期	集中	単位数	1単位	授業担当者	井上 葉子・村上 今日子		
【科目の概要】							
保育の場において、子どもが健康で安全な生活が送れるための知識と技術を習得する。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	こどもの健康状態の観察、発育発達の評価を行うことができる。						1-d 3-a
イ	子どもの健全な成長、発達を助成するための保育、養護を行うことができる。						1-c 3-c
ウ	急病や事故等緊急時の対応、応急手当ができる。						3-b
エ	集団保育における健康管理、感染症の予防の知識と技術を習得できる。						3-a 3-b
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	小児保健実習について・保育者の健康と衛生管理			月 日	シラバスの熟読		
2	乳幼児の健康状態の観察と評価			月 日	実習事前事後学習、実技レポート		
3	乳幼児の身体計測とその評価			月 日			
4	乳幼児の養護①（乳児の抱き方と寝かせ方）			月 日	実習事前事後学習、実技レポート		
5	乳幼児の養護②（沐浴、衣服の着脱、オムツ交換、排泄の世話）			月 日			
6	乳幼児の養護③栄養（離乳食、調乳）			月 日			
7	乳幼児のかかりやすい病気とその対応			月 日	実習事前事後学習、実技レポート		
8	乳幼児によく見られる症状の観察とそのケア			月 日			
9	保健計画、保健便り			月 日			
10	乳幼児の事故と応急手当て（創傷、熱傷、頭部外傷、鼻出血）			月 日	実習事前事後学習、実技レポート		
11	乳幼児の事故と応急手当て（誤飲、誤嚥）			月 日			
12	心肺蘇生・AED			月 日			
13	アレルギーのある乳幼児の対応（エピペン投与）			月 日	実習事前事後学習、実技レポート		
14	保育環境の整備 事故防止、感染予防			月 日			
15	気になる子どもへの対応・まとめ			月 日			
16							
【教科書・テキスト】				【成績評価の方法】			
子どもの保健演習ノート 小林美由紀著 診断と治療社				実習レポート50% 実技試験（講義中随時行う）50%			
【参考書・教材】							
【履修要件及び履修上の注意事項】							
実習時は活動しやすい服装を着用のこと。							
【履修上の遵守事項】							
【連絡先・オフィスアワー】							
連絡先：				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア ①	子どもの発達課題に応じた養護技術		各養護技術の方法を述べる ことができる。	助言の下、手順通りの養護 技術が実施できる。	子どもの発達段階に応じた養 護技術を実施できる。
ウ	子どもの病気やケガの応急 処置		応急手当や救命処置の方法 を述べるができる。	助言の下、応急手当や救命 処置を実施できる。	子どもの病気やケガに適した 応急手当や救命処置を実施で きる。
エ ①	事故防止や病気予防などの 健康安全教育と援助		事故防止や病気予防の方法 を述べるができる。	助言の下、事故防止や病気 予防対策が実施できる。	事故防止や病気予防対策が実 施でき、助言の下、健康安全 教育が行える。
ア ②	子どもの健康観察の評価		子どもの健康観察の方法を 述べるができる。	助言の下、バイタルサイン 測定や身体計測などの健康 観察ができる。	助言の下、健康観察した結果 の評価ができる。
エ ②	子どもをより健康に導くた めの保健計画案の作成		保健活動計画の意義を述べ ることができる。	助言の下、健康保育目標を 立て年間保健計画を作成で きる。	助言の下、生活習慣を踏ま え、健康教育の一環としての 保健便りを作成できる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					

